

# 大通・幸町地区「コミュニティ施設」整備事業について報告

## 幸町棟の配置や事業費、整備日程等協議

5月25日に開催された第4回全員協議会では、大通・幸町地区「コミュニティ施設」整備状況について協議を行いました。特に、令和5年度に解体される旧議事堂跡に建設されるドラッグストアを含む幸町棟の配置プランの他、想定される整備事業費やその財源及び令和6年度着工予定とする整備スケジュールが提示され、協議を行ってきました。

### 第4回全員協議会

(5月25日)

#### 大通棟のチップボイラー設置 工事ほかについて

#### 町の説明

4月27日より設置工事が始まっており、5月末に完了する予定です。これにより、大通棟の建設工事が完了となります。

外構工事は、バスレーン側のインターロッキングの敷設、建物周辺の舗装路盤は施設のプレオープン前に完了しています。解体工事については、5月17日より、旧JABビル解体工事に着手しています。解体が終了次第、順次駐車場の整備に取り掛かり、その完成がおおよそ10月末から11月上旬になる予定です。

#### 幸町棟の配置プランについて

#### 町の説明

以前と、大きくは変わっていませんが、ドラッグストアの左側に管理事務所、また多目的スペースを設けています。駐車場は33台であり、駐車場に関しては、今後協議会や店舗の意見を聞きながら決定をしたいと考えています。

### 議員の質疑と町の回答

**Q** 建設に関して、住民の理解を得られていると判断しているのか。

**A** 民設から公設になったことで、不信感があることは承知しています。今後の住民説明会や毎月特集を組んでいる広報で、財政の部分と公設民営の話は、一定程度の区切りがつけられると考えています。

**Q** アンケート調査のような、裏付けとなるものを示していただきたい。

**A** これまでの経緯により、正確な数字が取れないことを危惧しています。胸を張って提案できるように、今後の説明会に注力していきたいと考えています。

#### 幸町棟の想定事業費及び整備スケジュールについて

#### 町の説明

幸町棟の全体の事業費は、6億2310万円です。内訳は、設計費等2262万円、解体費9328万円、建築工事費3億9600万円、外構工事費1億1200万円です。財源は、主に国の交付金と一般財源です。

は、旧議事堂の解体が11月ころからとなります。また、3月末に国の交付決定が予定されるので、4月から建物の建設に着手し、その後外構工事を経て、11月ころにオープンできるのではないかと考えています。

**Q** 住民説明会については、6月中旬までに開催したいと考えています。内容は、主にプラン、事業費、スケジュールについて説明したいと考えています。

**Q** 住民説明会において、何を議論するのか。

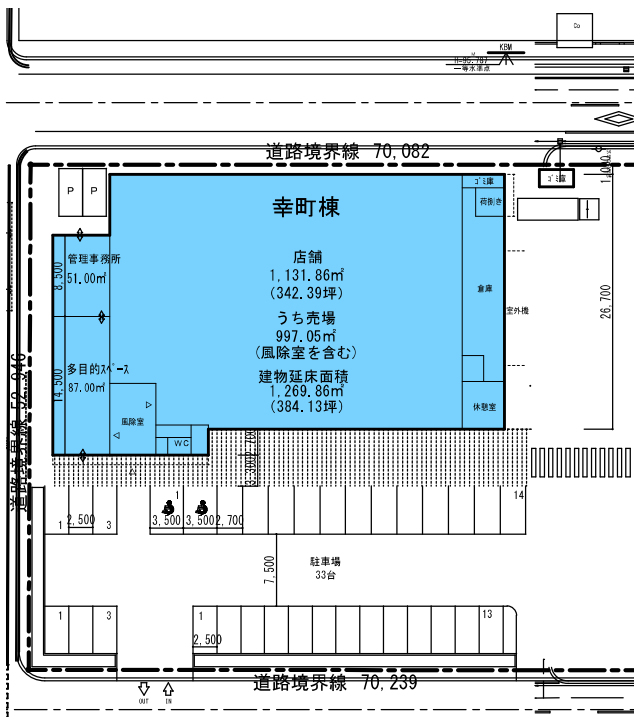
**A** 事業費や財政に関して、具体例を示しながら説明をしたいと考えています。

**Q** 基本設計が9月中旬くらいであれば、建設にかかる予算は9月定例会に提案するということがか。

**A** 9月定例会にて補正をしたいと考えています。

**Q** モヤモヤ感がある町民に対して、寄り添う取り組みも必要なのではないか。

**A** 説明会だけではなく、さまざまなメディアなどを通じて、鋭意対応していきたいと考えています。



## 常任委員会



図書館の現地視察 (6/5)



木材工芸館木質バイオマスバイオボイラー施設の現地視察 (6/6)

## 総務文教常任委員会

### 第3回 (5月16日)

- ・ 契約の締結について (役場庁舎正面駐車場外構工事)
- ・ 町税条例の一部改正について

### 第4回 (6月5日)

- ・ 町内視察結果について
- ・ 台湾彰化県二水郷への訪問について

- ・ 財産の無償貸付について (小規模多機能型居宅介護事業所)
- ・ 防災会議条例の一部改正について
- ・ 墓地条例の一部改正について

## 産業福祉常任委員会

### 第3回 (5月17日)

- ・ 財産の処分について (町有林立木)
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正について

### 第4回 (6月6日)

- ・ 町内視察結果について
- ・ 財産の取得について (道路維持作業車購入)
- ・ スクールバス置き去り防止安全装置の装備について

- ・ 持続的畑作生産体系確立緊急支援事業について
- ・ 麦・大豆生産技術向上事業及び産地生産基盤パワーアップ事業 (国産シェア拡大対策のうち機械導入事業)について
- ・ 施設の貸付 (有害鳥獣エゾシカ有効活用) について



## 議会広報常任委員会

### 第7回 (7月13日)

- ・ 議会報190号の編集について

## 議会運営委員会

### 第10回 (5月23日)

- ・ 第4回津別町議会臨時会の運営について

### 第11回 (6月13日)

- ・ 第5回津別町議会定例会の運営について
- ・ 意見書等の取り扱いについて

## 町村議会議員研修会に参加

7月4日、札幌市で道町村議会議長会主催による研修会が開催されました。研修会は「ウクライナ危機後の世界と日本」兵庫県立大学理事長五百旗頭 真氏、「日本政治の舞台裏」政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏による講演がありました。



## 町長行政報告

### 報告された事項

#### 第4回臨時会 (5月25日)

- 地域内エコシステムの推進に関する基本協定の締結
- 台湾彰化県二水郷との交流
- ふるさと納税
- 交通安全推進運動
- 第8回網走川流域の会総会及びシンポジウム
- 第16回船橋・津別青少年交流協会定期総会の開催
- まちづくり基本条例キックオフ勉強会

#### 第5回定例会 (6月20日)

- 津別峠開き・安全祈願祭
- 健康増進に関する連携協定の締結
- 降雹及び集中豪雨による被害
- 津別町木質バイオマスセンター完成式
- ヒゲマの出没状況
- 殉公者追悼式
- 建設工事等の発注状況



# 議会日誌

## 5月

- 16日 第3回総務文教常任委員会
- 17日 第3回産業福祉常任委員会
- 17日 美幌町議会正副議長来庁
- 22日 オホーツク町村議会議長会役員会  
・北網ブロック町議会議長会総会  
・オホーツク町村議会議長会総会  
(清里町)
- 23日 第10回議会運営委員会
- 25日 第4回津別町議会臨時会  
第4回全員協議会
- 26日 オホーツク圏活性化期成会役員会  
・総会(網走市)

## 6月

- 5日 第4回総務文教常任委員会
- 6日 第4回産業福祉常任委員会
- 6～7日 北海道市町村職員退職手当組合議  
会臨時会(札幌市)
- 13日 第11回議会運営委員会
- 14日 オホーツク圏活性化期成会石北本  
線合同部会(北見市)
- 15～16日 北海道町村議会議長会定期総会・  
議長、事務局長研修会(札幌市)
- 20～21日 第5回津別町議会定例会
- 28日 議会改革推進会議行政視察(美幌  
町、斜里町)
- 29日 北海道市町村振興協会定時評議員  
会(札幌市)

## 7月

- 4～5日 北海道町村議会議員研修会(札幌  
市)
- 11日 オホーツク圏活性化期成会建設経  
済専門委員会(北見市)
- 13日 第7回議会広報常任委員会

# 意見書

関係行政庁へ  
提出しました

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 令和5年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

### 【要旨】

本道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。

全国一の森林資源を有する北海道が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスのエネルギー利用の促進など森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要である。

道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造公共施設の整備、森林づくりを担う人材の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策をさらに進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

## は ぐ る ま

5月22日、清里町にてオホーツク管内議長会の総会が開催され、4年間の会長職を退任しました。併せて、4年間務めた全道議長会の副会長も退任しました。管内は、北網地区と遠紋地区に分かれ、4年間交互に会長職を選任しています。今年から佐呂間町の佐藤議長が就任しました。また、全道議長会は道央、道南、道北、道東の4ブロックに区分され、会長、副会長を選任しています。道東ブロックは、オホーツク、十勝、釧路、根室で、今年から、釧路ブロックの白糠町富田議長が副会長に就任しました。

令和元年からは4年間兼職として、公益財団法人北海道市町村振興協会の評議員となり、宝くじの売り上げと交付金の額を審議してきました。今年からは、オホーツク管内議長会の副会長に就任し、兼職として、北海道市町村退職手当組合議会の議員になり、当組合は250団体、職員数3万5千余人、530億円の給付準備基金を保有しています。職員福祉の増進を図るとともに、財政の安定、健全化に努めてまいります。(鹿中)

